

表現力を高める指導の工夫

高校教育研究係

櫻井 明美（高等学校教諭）

金子 昌修（高等学校教諭）

<1>『話すこと・聞くこと』の領域における到達目標を明示したファイルの活用を通して（櫻井 明美）

I 主題設定の理由

今回改訂された高等学校学習指導要領の基本的な考え方として、「思考力・判断力・表現力等の育成」が挙げられている。そして、それらの実現に向け、「言語活動の充実」を各教科等を貫く重要な改善の視点として強調し、国語科をはじめ、各教科等で言語の能力を育むことが求められている。とりわけ国語科には、言語活動の基礎となる「言葉を通して的確に理解し、論理的に思考し表現する能力」「互いの立場や考えを尊重して言葉で伝え合う能力」の育成が期待されている。

しかし、現状では生徒にそれらの能力が十分に身に付いていないとの実感がある。中でも、話したり聞いたりすることがうまくできないため、実際のコミュニケーションに問題を抱えている生徒が多い。生徒間におけるトラブルも、国語科の一領域である「話すこと・聞くこと」に関する能力の欠如が原因の一つと考えられる。また、これまで「話すこと・聞くこと」領域の指導をあまり行ってこなかったという反省もあり、本研究を通して、この領域の能力を育成したいと考えた。

手だてとしては、到達目標を明示し、ワークシートを挟み込めるファイルの活用を考えた。一単位時間の学習活動で生徒に「これができるようになった」との達成感を抱かせたいからである。到達目標というゴールを明確に提示することにより、意欲を喚起し、達成感が得られる授業をイメージしている。また、生徒の実態からも、一回ごとにまとまりがあり、到達度を確認しながら進める授業を積み重ねることが、生徒自身に力が付いたと実感させることにつながるのではないかと考えている。

以上のことから、国語総合において、到達目標を明示したファイルを活用することで社会人として必要な「話すこと・聞くこと」領域の能力を高めたいと考え、本主題を設定した。

II 研究のねらいと課題解決策

1 ねらい

高等学校国語科の「話すこと・聞くこと」の領域において、社会人として必要な「話すこと・聞くこと」の能力を身に付けさせるために、到達目標を明示したファイルを活用することの有効性を明らかにする。

2 課題解決策

- (1) 「聞くこと」から「話すこと」への指導の展開
→「聞くこと」の不十分さが原因で「話すこと」がうまくできない現状を改善する。
「聞くこと」の経験を積み、「話すこと」への抵抗を減らす。
- (2) 到達目標の見直しと明示
→達成感が得られるように到達点を明示する。
- (3) ファイルやワークシートの工夫

→生徒自身が到達点や学習活動を把握できるファイルやワークシートを作成する。

3 検証方法

- 「聞くこと」「話すこと」ファイルやワークシートの記述の点検及び分析
- 授業における生徒の活動の観察

Ⅲ 課題解決のための具体的実践

1 成果物の概要

(1) 聞くことファイル・話すことファイル

A 4のワークシートが挟める形状となっている。表紙には到達目標を明記して、感想欄を設け、認定証を載せた。表紙の裏には授業前後で付いた力を実感できるように、事前及び事後の自己評価欄を設けた。

(2) ワークシート

スピーチの設計図を「スピーチの楽譜」と名付けて、親しみがわくようにした。主題を記入する欄を設けて、伝えることを意識させた。表には10秒ごとの目盛りを入れて、視覚的に時間の目安が分かるようにした。マナー・型の注意事項も載せた。

(3) その他各種「聞くこと」「話すこと」のワークシートを作成した。

2 成果物の活用

(1) 授業の始めにファイルを配付し、目標を確認する。

(2) 授業で使用するワークシートはその都度配付する。毎時間授業の終わりにチェックシートによる自己評価を行い、到達度を確認させる。

(3) ワークシートをファイルに挟み、表紙に感想を記入して提出させる。

(4) 感想にはコメントを記し、次回の授業で生徒が読めるようにする。

(5) すべての授業に出席した生徒には認定証を発行する。

Ⅳ 研修の成果と課題

1 成果

(1) 生徒の意欲的な取組が見られた。

- 到達目標を明示することによって、意欲的な態度につながった。生徒からも「やることが分かって安心」「やる気が出る」「どんな力が付くか分かる」などの意見が挙げられた。

- ファイルに感想欄を設けコメントを添えて返すことで、個々に交流することができ、生徒の意欲的な取組にもつながった。

- チェックシートによる事前事後の評価で、付いた力が可視化され達成感につながった。

(2) 「聞くこと」から「話すこと」への指導の展開により話すことへの抵抗感が軽減された。

- 教師のスピーチを聞く経験を積み、スピーチの様子をあらかじめ把握することができた。

- 「聞くこと」の大切さを実感し能動的に聞けたことから、聞き手と話し手が協働して、話し合いやスピーチの場を作り上げることができた。

(3) 生徒の「話す力」「聞く力」が向上した。

- チェックシートのYesの回答が全員増えた。

(「聞くこと」では平均5.9から8.9へ、「話すこと」では4.5から8.8へ)

- 身に付いたとの感想が多かった。

「聞く力や話す力がついてよかったです。」「聞きながらメモとったり大変だったけど自分の力になったと思う。スピーチも最初はいやだったけど、ちゃんとできてよかったです。」

- 考えながら集中して聞く姿や、懸命にスピーチで伝えようとする姿が見られた。

2 課題

- 授業の見通し（到達目標）を明示することにより、苦手意識を抱いている生徒は欠席してしまうことがあった。動機付けを工夫する必要がある。
- スピーチの話題が見つからない生徒への支援（マッピングやウェビングといった発想法の活用など）が必要である。
- 身に付いた能力を測る評価問題の改善や工夫が必要である。

<2>「現代文の読解をもとに自分の考えを表現する活動を通して」(金子 昌修)

I 主題設定の理由

今回改訂された高等学校学習指導要領の基本的な考え方として、「思考力・判断力・表現力等の育成」が挙げられている。そして、それらの実現に向け、「言語活動の充実」を各教科等を貫く重要な改善の視点として強調し、国語科をはじめ、各教科等で言語の能力を育むことが求められている。とりわけ国語科には、言語活動の基礎となる「言葉を通して的確に理解し、論理的に思考し表現する能力」「互いの立場や考えを尊重して言葉で伝え合う能力」の育成が期待されている。

しかし、本校における現代文の授業においては、文章内容の理解はできるが読み取った内容についての感想や意見がうまく書けないという生徒が多く見られる。例えば、感想文が本の内容をそのまま書き写しただけのものであったり、全く書けていない白紙のものであったりする。

生徒の立場で考えれば、何となく文章を読んで終わってしまっているように思われる。これでは、理解する力は身に付いても、自分の考えを表現する力は身に付かないままである。生徒自身が今後の社会を生きていくための一つの手段として、自分の考えを表現する能力を身に付けていく必要があると考える。以上のことから、「現代文の読解をもとに、自分の考えをまとめ、表現する活動」を通し、生徒の表現力を高めたいと考え、本主題を設定した。

II 研究のねらいと課題解決策

1 ねらい

高等学校国語科現代文「コンコルドの誤り（評論）」「山月記（小説）」の指導において、「現代文の読解をもとに、自分の考えをまとめ、表現する活動」に学習シートを活用すれば、生徒の「自分の考えを書き表す能力」が高められることを実践を通して明らかにする。

2 課題解決策

(1) 学習シートの作成及び活用

① 作成上の留意点

- 全体を把握するものとオープンエンドの問いに答えるものを作成する。後者は教材文を振り返りながら、問いに対する答えと根拠を書くものとする。
- 難易度の低い学習活動から徐々に高いものへと段階的にレベルアップしていくよう、発問構成に配慮する。

② 活用上の留意点

- オープンエンドの問いについては、各教材ごとの文章読解の時間が終了した後に一単位時間設定する。また、生徒が自分の意見を書くための時間を十分に確保する。
- 「コンコルドの誤り」の学習は「山月記」に向けての準備的な段階となる要素を盛り込んだ内容となるように発問の難易度を工夫する。

(2) 学習形態の工夫

学習シートに沿って個人で考え、記入する。記入したものを基に4人のグループでお互いの考えを交換し合う。

3 検証方法

- ワークシート及び定期テストの記述の点検
- グループ活動等における生徒の学習への取組の観察

Ⅲ 課題解決のための具体的実践

1 成果物の概要

	「コンコルドの誤り」	「山月記」
ワークシート1	文章全体を把握する。	
ワークシート2	本文を根拠としながら文章の意味を解釈する。	各段落の内容を理解する。
ワークシート3	読解したことをもとに自分の考えを表現する。	

2 成果物の活用

	「コンコルドの誤り」	「山月記」
ワークシート1	本文に関する細かな問題を考えさせ、全体の構成をとらえさせる。	物語の大まかな流れが一目でわかるような内容とし、全体をとらえさせる。
ワークシート2	自分の意見を書かせ、4人グループでの意見交換をさせる。	内容読解のポイントをできるだけ絞って、各段落を理解させる。
ワークシート3	自分の意見を書かせ、4人グループでの意見交換をさせる。	自分の意見を書かせ、4人のグループでの意見交換をさせる。更に班内の意見をまとめさせ、発表させる。

Ⅳ 研究の成果と課題

1 成果

- (1) 生徒の「書く力」が向上した。
 - 内容読解だけでなく、読解をもとにした表現活動を授業に取り入れることができ、表現能力を育成することができた。
 - 問いに対する「立場と理由」を書くという点において、ほぼ全ての生徒が自分の考えを書けるようになった。また半数の生徒は、理由についての記述を本文や知識を交えて論理的に書くことができるようになった。
- (2) 生徒がお互いの意見を聞き合い、考えを深めることができた。
 - グループ活動を通して、コミュニケーション能力を育成することができた。
 - 活動後の感想に「いろいろな意見があることを感じた。他の意見になるほどと思った。」というものが多く見られた。
- (3) ワークシートを用いて学習の内容と目的を明確にすることで、生徒の集中力を高めることができた。
 - ワークシートに沿ってテンポよく授業を進めることにより、生徒が飽きずに授業に取り組むことができた。
 - 理解と表現の指導という点において、「コンコルドの誤り」「山月記」の2つの教材を段階的に関連付けて指導することができた。

2 課題

- 生徒が主体となる学習活動を計画し、生徒の考えをうまく引き出す発問となるように一層工夫していく必要がある。
- 生徒が活動する際のファシリテーター（活動を促進する人）としての教師の役割を意識し、その力量を高め、グループ活動や発表の指導を工夫していく必要がある。

国語科「国語総合」学習指導案

平成21年10月30日（金）1校時

指導者 群馬県立〇〇高等学校

教諭 櫻井 明美

指導場所 〇〇〇

I 単元名

表現の実践（話すこと・聞くこと）

1 考察

(1) 単元観

社会生活を営む上で、「話すこと・聞くこと」は重要な役割を担う能力の一つである。日常において私たちは、会話を通じて他者との意思疎通を図り、理解し、人間関係を構築している。このコミュニケーションの基礎・基本である「話すこと・聞くこと」の能力を、入学して1年目に履修する国語総合で養いたいと考えている。

現行の学習指導要領でも「A話すこと・聞くこと」の領域について以下の3つの指導事項が挙げられている。

ア 様々な問題について自分の考えをもち、筋道を立てて意見を述べること。

イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。

ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重して話し合うこと。

さらに学習指導要領改訂においても、各教科を貫く重要な改善の視点として言語活動の充実が挙げられている。とりわけ国語科には、言語活動の基礎となる「言葉を通して的確に理解し、論理的に思考し表現する能力」「互いの立場や考えを尊重して言葉で伝え合う能力」の育成が期待されている。

これらの能力を、ニュースの聞き取り・電話での応対・話し合い・スピーチ実践などを通じて育成したいと考えている。その際には到達目標を明示したファイルを活用し、達成感が得られる授業となるよう展開したい。

社会生活で不可欠である「話すこと・聞くこと」の能力を養成し、自分の言葉で他者とかわり、世界を切りひらいていく姿勢を育成したいと考え単元を設定した。

(2) 生徒の実態

国語総合では習熟度別に三つの講座が展開されており、基礎のクラスとなる。

全体的に大人しい生徒が多く、授業中の問いかけに対しても反応はあまり見られない。コミュニケーションを苦手としている生徒もおり、大勢の前で「話すこと」に負担を感じているようである。まずは、その心的負担を軽減することが必要であると考えている。事前のアンケートでもスピーチの基本的事項ができていないと自覚している生徒が多かった。

また、「聞くこと」に関しては、その能力をあまり鍛えてこなかった様子が見受けられる。事前のアンケートにより、メモの活用や主題を把握・整理しながら聞くことができていないことが分かった。

2 単元の目標

- 聞くことの心構えや態度を身に付ける。
- メモなどを活用し、情報を正確に聞き取る。
- 主題や構成をつかみながら聞き取る。
- 話し合うことで結論を出す。
- スピーチのマナー・型を理解する。
- スピーチに必要な準備をする。
- スピーチで伝える。

3 単元の評価規準

関心・意欲・態度	「話すこと・聞くこと」に興味・関心をもち、進んで能力を伸ばそうとしている。
話す・聞く能力	① 目的や場に応じて、情報を的確に聞き取り主題を把握している。 ② 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重して話し合っている。 ③ 様々な問題について自分の考えをもち、筋道を立てて意見を述べている。
知識・理解	「話すこと・聞くこと」に必要な事項を理解している。

4 指導方針

- 「聞くこと」の経験を積ませることによって「話すこと」への抵抗を減らす。
- 1 単位時間ごとの到達目標を明示する。
- 到達目標を明記したファイルを活用する。
- コミュニケーションを体得できるよう構成的グループエンカウターのエクササイズ等の手法を用いる。
- マイク設備があり、エクササイズができる広さの教室で行う。

5 指導と評価の計画 ※ゴシック体:ワークシート、参考資料等

時間	指導目標	学習活動	単元の評価規準	評価方法
1	聞くことの心構えや態度を身に付ける。	構成的グループエンカウターのエクササイズ等を通じて、コミュニケーションを体得する。 授業者のスピーチで、聞く態度を実習する。 聞くことファイル	関心・意欲・態度 知識・理解 話す・聞く能力①	活動の観察
1	メモなどを活用し、情報を正確に聞き取る。	ニュースを聞いて正確に情報を聞き取る。 電話の応対を通じて、メモの活用や質問を行う。 聞くことファイル ニュース聞き取り確認シート ①・② ニュース聞き取りメモ 電話メモ	関心・意欲・態度 知識・理解 話す・聞く能力①	活動の観察 記述の確認
1	主題や構成をつかみながら聞き取る。	「どうぶつのしぐさ」 「あいさつ」を聞いて、段落に分ける。 主題を把握する。 聞くことファイル 主題・構成 把握プリント	関心・意欲・態度 話す・聞く能力①	活動の観察 記述の確認

1	話し合うことで結論を出す。	「私たちのスピーチの約束5か条」を話し合いで決める。 司会や記録の仕事を確認する。 話すことファイル 話し合い実習Ⅰ・Ⅱ 「スピーチの約束」参考資料	関心・意欲・態度 知識・理解 話す・聞く能力 ②・③	活動の観察 記述の確認
1	スピーチのマナー・型を理解する。	私の「今年の漢字」について発表する。 (ペア・全体) おじぎや挨拶・目線などの型を練習する。 話すことファイル 「今年の漢字」参考資料 「今年の漢字」発表シナリオ	関心・意欲・態度 知識・理解 話す・聞く能力③	活動の観察 記述の確認
1	スピーチに必要な準備をする。	発声練習 「私たちのスピーチの約束」5か条を確認する。 授業者のスピーチを聞く。 「スピーチの楽譜」を作成する。 話すことファイル 発声練習プリント スピーチの楽譜 スピーチの楽譜記入例	関心・意欲・態度 知識・理解	活動の観察 記述の確認
① 本時 く 2	スピーチで伝える。	3分を体感する。 「スピーチの楽譜」の手直しをする。 ペアで発表練習をする。 全体で発表をする。 相互評価をする。 話すことファイル スピーチの楽譜 スピーチ自己評価シート スピーチアドバイスシート	関心・意欲・態度 話す・聞く能力 ①・③	活動の観察 記述の確認

Ⅱ 本時の学習指導

1 目標

- スピーチで伝える。

2 本時の評価規準

関心・意欲・態度	「話すこと・聞くこと」に興味・関心をもち、進んで能力を伸ばそうとしている。
話す・聞く能力	① 目的や場に応じて、情報を的確に聞き取り主題を把握している。 ② 様々な問題について自分の考えをもち、筋道を立てて意見を述べている。
知識・理解	「話すこと・聞くこと」に必要な事項を理解している。

3 展開

	学習内容・活動	指導上の留意点	評価規準〈評価方法〉
導入 5分	(1) 本時の目標を確認する。	○本時の目標と準備の状況を確認する。 ○ファイル表紙とチェックシートを確認するよう指導する。	関心・意欲・態度 〈活動の観察〉
展開 77分	<p>スピーチの準備・練習</p> <p>(2) 個人練習 2 回(15分)</p> <p>(3) ペアになってスピーチし合う。(10分)</p> <p>(4) 発声練習 (5分)</p> <p>(5) スピーチの約束・マナー・型の確認 (5分)</p> <p>スピーチ</p> <p>(6) アドバイスシートの説明 (1分)</p> <p>(7) 全体の前で一人ずつスピーチする。(35分) 1人6分(6名程度)</p> <p>(8) アドバイスシート・自己評価シートの記入 (3分)</p> <p>(9) アドバイスシートの配付 (3分)</p>	<p>○時間を計り3分を体感させる。 ○楽譜を直す時間も設ける。</p> <p>○後方に移動しペアを組ませる。 ○相手に伝えることを意識をさせる。 ○聞き手はアドバイスをするように促す。</p> <p>○前方に移動させる。 ○しっかりと発声させる。</p> <p>○お辞儀などを復習させる。 ○約束を指名して読ませる。 ○板書して提示する。</p> <p>○評価する項目を読み上げる。</p> <p>○時間により人数を決める。 ○全員が終わらない場合は次回に実施する。 ○スピーチの楽譜ができていない生徒は次回に実施する。楽譜は宿題とする。</p> <p>○自己評価と比較し、スピーチを振り返らせる。</p>	<p>関心・意欲・態度 話す・聞く能力①② 知識・理解 〈活動の観察〉</p> <p>〈記述の確認 (アドバイスシート) (自己評価シート)〉</p>
まとめ 8分	<p>(10) 本時の学習を振り返る。</p> <p>(11) 次回発表者の宿題(前回欠席者は楽譜を完成させ練習してくる)</p>	<p>○感想を各自記入する。 ○声をかけながら押印する。 (ファイル表紙の認定証発行)</p>	<p>関心・意欲・態度 〈活動の観察〉 〈記述の確認 (話すことファイル)〉</p>

「話すこと」ファイル

() 番 () ゼミ 名前 ()

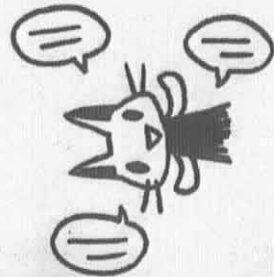
積み上げよう！

4	<p>スピーチ実践編 「スピーチで伝える」</p> <p>感想</p>	<input type="radio"/>
3	<p>スピーチ準備編 「スピーチに必要な準備をする」</p> <p>感想</p>	<input type="radio"/>
2	<p>スピーチマナー・型編 「スピーチのマナー・型を理解する」</p> <p>感想</p>	<input type="radio"/>
1	<p>話し合い編 「話し合うことで結論を出す」</p> <p>感想</p>	<input type="radio"/>

認定証

あなたは「話すこと」の授業を修了し
話す力が伸びたことを認定します。

平成 年 月 日



話すことチェックシート <After>

スピーチ実践編	スピーチ準備編	マナー型編	話し合い編
原稿・メモから目を離して目線を配りながらスピーチすることができましたか。	原稿・メモから目を離して目線を配りながらスピーチすることができましたか。	話し言葉の特性（瞬時に消えてしまう）を意識して伝えるように話せましたか。	話し合いでは結論を出そう（問題を解決しよう）と前向きに協力できましたか。
4～5メートル先の相手の胸に届く声でスピーチすることができましたか。	スピーチにはどんな準備が必要か知ることができましたか。	スピーチのマナー・型を理解することができましたか。	相手の意見を理解し、尊重できましたか。
スピーチで伝えたいことを相手に伝えられましたか。	話題を相手の立場になって選んできましたか。	司会の役割を理解することができましたか。	
Yes No	Yes No	Yes No	Yes No

話すことチェックシート <Before>

8	原稿・メモから目を離して目線を配りながらスピーチすることができましたか。	Yes No
9	4～5メートル先の相手の胸に届く声でスピーチすることができましたか。	Yes No
10	スピーチで伝えたいことを相手に伝えられますか。	Yes No
5	スピーチにはどんな準備が必要か知っていますか。	Yes No
6	話題は相手の立場になって選んでいますか。	Yes No
7	話し言葉の特性（瞬時に消えてしまう）を意識して伝えるように話していますか。	Yes No
4	スピーチのマナー・型を理解していますか。	Yes No
1	話し合いでは結論を出そう（問題を解決しよう）と前向きに協力していますか。	Yes No
2	相手の意見を理解し、尊重していますか。	Yes No
3	司会の役割を理解していますか。	Yes No

Yesが0～3個 話す力はまひとつ。授業で話す力を鍛えよう！
 Yesが4～8個 なかなか話す力を持っています。更に向上させよう！
 Yesが9～10個 素晴らしい！あなたは話すカマスタターです！

授業(全4回)終了後、全ての項目がYesになるよう頑張ろう！

決定!

私たちの「スピーチの約束」 5か条

1.	
2.	
3.	
4.	
5.	
話すとき	
聞くとき	

これを実行すれば、いいスピーチの場を作り出せる!!

話し合い実習 I

() 番 () ゼミ 氏名 ()

「スピーチの約束」を班で話し合って決めよう！

「これをみんなで守れば、いいスピーチになるんじゃないかなあ」という約束を話し合って決めよう。

- ・話し手の心構え・注意点
- ・聞き手の態度

などについて話し合い、5つに絞ります。

私の意見

+

話し合いで出た意見

《結論》 私たちの班の「スピーチの約束」 5か条

1.
2.
3.
4.
5.

話し合い実習II

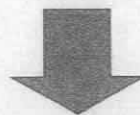
() 番 () ゼミ 氏名 ()

「スピーチの約束」を全体で話し合って決めよう！

各班のルールを発表し合い、全体の「スピーチの約束」を決めましょう。
ちなみに、ここで決まった約束は、みなさんがスピーチするときの約束事になりますよ。

もう一つの班の「スピーチの約束」 5か条

1.
2.
3.
4.
5.



決定！

私たちの「スピーチの約束」 5か条

1.
2.
3.
4.
5.

感想を発表しよう！

「この話し合い実習を通じて、私が出たこと（分かったこと）は……

（ということ）です。」

★ 発声練習 ★

声はらメートル先の人の胸に届くように。(一番いい声が出ますよー)

腹式呼吸

上半身をリラックスさせる。息を吐ききってから吸う。

「天気予報です」(一秒) 目標十回 十五回以上言えたら上出来ー

ア	エ	イ	ウ	エ	オ	ア	オ	ア	イ	ウ	エ	オ
カ	ケ	キ	ク	ケ	コ	カ	コ	カ	キ	ク	ケ	コ
サ	セ	シ	ス	セ	ソ	サ	ソ	サ	シ	ス	セ	ソ
タ	テ	チ	ツ	テ	ト	タ	ト	タ	チ	ツ	テ	ト
ナ	ネ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ナ	ノ	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ
ハ	ヘ	ヒ	フ	ヘ	ホ	ハ	ホ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	メ	ミ	ム	メ	モ	マ	モ	マ	ミ	ム	メ	モ
ヤ	エ	イ	ユ	エ	ヨ	ヤ	ヨ	ヤ	イ	ユ	エ	ヨ
ラ	レ	リ	ル	レ	ロ	ラ	ロ	ラ	リ	ル	レ	ロ
ワ	エ	イ	ウ	エ	ヲ	ワ	ヲ	ワ	イ	ウ	エ	ヲ

パ リ ル ベ ン ボ

お綾^{おあや}や 母親^{おぼろ}に おあやまり^{おあやまり}なぞい

東京都^{とうきょう} 特許^{とくしよ} 許可^{きょか}局

新巻^{しんまき} シャンソン^{しやんそん} ショー

隣^{となり}の 竹垣^{たけがき}に 竹立^{たけたて}てかけた

引き抜きにくい^{ひきなげにくい} 釘^{くわい}

母^{はは}は 母^{はは}なりの 抱負^{だうぶ}や 批判^{ひはん}を 持っている

右耳^{みぎみみ} 右耳^{みぎみみ} 三右耳^{さんみぎみみ} 右耳^{みぎみみ} 合わせて 六右耳^{むつみぎみみ}

いい声・通る声は
練習で作れるもの!

「今年の漢字」発表シナリオ

「〇〇〇〇です。よろしくお願いします。」自分の名前を言う。

「私の『今年の漢字』は です。」

「その理由は 二・三 つあります。」 ←〇で囲む

一つめは

二つめは

三つ目は

「以上 二・三 つの理由から、私にとっての
『今年の漢字』は です。」

まとめや感想、抱負など

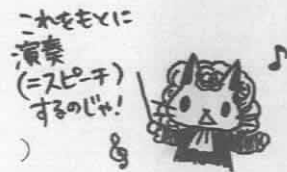
「ありがとうございました」

大げな「今年」の漢字

わたしにとっての「今年の漢字」は……

マジックで大きく書きましょう！

♪スピーチの楽譜♪



() 番 () ゼミ 氏名 ()

何についての話? (話題)
私の一番伝えたいこと (主題) → 結論・まとめの部分 ★

《確認》 顔を上げること。 5秒先の相手の胸へ声を届けること。 目線を配ること。




0	登壇 ゆっくりと一礼 マイク調整 笑顔で!	
話題 の紹介 1分 メイン エピソード など 2分 3分 まとめ 主題 ★		メモ (留意点など)
	ゆっくりと一礼 降壇	「ありがとうございました」(感謝)

〈スピーチ自己評価シート〉

番号 氏名


- ① **スピーチマナー型** (あいさつ・おじき・姿勢……)
できた _____ できなかった
- ② **声** (きこえりやすく、大きな声で話せましたか。)
できた _____ できなかった
- ③ **目線** (前を向いて、目線を配りましたか。)
できた _____ できなかった
- ④ **話題** (相手が興味をもつ話題を選べましたか。)
選んだ _____ 選ばなかった
- ⑤ **主題** (伝えられたことは伝えられましたか。)
伝えられた _____ 伝えられなかった

主題 (相手が伝えられたこと)は……

 **ポイント** (上手だったな、と思うこと)

反省ポイント (上手でできなかった、と思うこと)

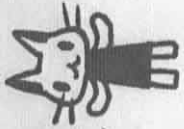
感想

 おつかれさま!!

〈スローチアドバイスシート〉

スローチした人

さん



みんなが
スローチ
上達しよう

① スローチマナー…型 (あいさつ・おじぎ姿勢……)



② 声 (きまじりやすさ、大きさ)



③ 目線 (前を向いて、目線を配しているか)



④ 話題



⑤ 主題 (スローチする人が伝えたいこと)



主題 (スローチした人が伝えたいこと) は……

ポイント (良かった点, 見習いたい点)

アドバイスポイント (ここを直せばもっと良くなるよ!!)

感想・質問 (ききたいことがあったら……)

記入者名

より

国語科「現代文」学習指導案

1 日時 平成21年11月26日（木曜日）第3校時

2 指導者 ○○高等学校 教諭 金子 昌修

3 指導学級 ○○科○年○組

4 単元名 小説「山月記」（中島 敦）

5 考察

○ 単元観

小説教材は1学期において、恩田陸「ピクニックの準備」に取り組んだ。本教材は、その次となる小説教材である。内容は虎となった李徴が旧友と再会し、自分の苦悩や自分が虎となった理由について振り返りながら語っていくというものである。李徴が自らの中に感じとった「臆病な自尊心」と「尊大な羞恥心」を生徒にしっかりと読み取らせたい。そして、生徒自身のこれからの生き方を考えていくきっかけとさせたい。

○ 生徒の実態

○年○組は男子○○名、女子○○名、計○○名で構成されている。全体的に明るい雰囲気があり、発言も活発な方である。また、教師の発問に対して積極的に取り組もうとする意欲が見られる。ただし、学習意欲に欠ける生徒も時折見受けられる。その辺りにどうアプローチしていくかが今後の課題である。

6 単元の目標

- 登場人物の生き方に興味を持ち、小説の世界に親しむ。
- 物語の内容を正確に読み取り、登場人物の心情を理解する。
- 漢字を正しく読み、語句の意味を知る。
- 読み取ったことをもとに自分の考えを表現する。

7 単元の評価規準

- 登場人物の生き方に興味を持ち、小説の世界に親しもうとしている。
(関心・意欲・態度)
- 作品内容をとらえた上で、登場人物の心情を理解している。(読むこと)
- 読み取ったことをもとに、自分の考えを表現している。(書くこと)
- 語句の意味を理解している。(知識・理解)

8 指導計画（全8時間）

- 本文通読と初発の感想…1時間
- ワークシート1を用いての全体の読解…1時間
- 内容確認プリント1～5を用いての読解…5時間
- ワークシート2を用いての発展問題と表現活動…1時間（本時）

9 本時

○ 目標

ワークシート2をもとに自分の考えをまとめ、班や全体で意見を交換することを通して、作品に対する考えを深める。

○ 準備するもの

表現課題ワークシート（ワークシート2）、記録シート

○ 展開

	学習内容	生徒の活動	指導上の留意点	評価の観点
導入 5分	1 本時の学習課題をつかむ。(5分)	・教師の説明を聞く。	・ワークシート2を用いて、班ごとに意見交換をして、発表までやることを伝える。	・説明をしっかりと聞いているか。
展開 40分	2 ワークシート2を用いて、本時の課題に取り組む。(15分)	・ワークシート2の課題に対する自分の立場と理由を書き込む。	・できるだけじっくりと考えられるように10分程度の時間を確保する。 ・なかなか書けない生徒には、自分なりの理由を1つで良いから書くように助言する。	・自分の立場と理由がしっかりと書けたか。
	3 班ごとに意見交換する。(15分)	・4人の班を作り、お互いの意見を発表しあう。 ・班の意見を記録シートにまとめる。	・机を動かすよう指示する。 ・発表順を決めさせる。(ジャンケン等) ・教師は班員に立場と理由を発表させる。(1人ずつ) ・記録、発表者を決めさせ(話し合い)、記録シートに班の意見をまとめさせる。	・役割を決めることができたか。 ・声に出して発表しているか。 ・協力しながらまとめることができたか。
	4 班で出された意見を全体の中で発表する。(10分)	・発表者は前に来て、班の意見を発表する。	・班は解体して机を元の状態に戻す。 ・発表者は記録シートを持って前に来てもらう。 ・クラス全員に聞こえるように、大きな声で言うように指示する。	・全員に聞こえるように発表できたか。 ・しっかりと聞くことができたか。
まとめ 5分	5 本時のまとめを行う。(5分)	・ワークシートの振り返り欄に記入する。	・本時の授業を振り返って感じたことや考えたことを記入させる。 ・時間に余裕があれば、何名か指名し、発表してもらう。	・感想を自分なりに書くことができたか。

☆本文全体を読みながら、次の①～⑧の問いに答えよう。

① イギリスとフランスが共同開発した超音速機の名前は？

② ①がもうこれ以上製造されない理由とは？

③ ①の開発の最中に②が判明したにもかかわらず、開発を続行したのはなぜか？

④ 「コンコルドの誤り」とは、どのようなことを言うか？五六ページから、三十字で抜き出せ。

⑤ 五四ページ7行目「一羽の雄の鳥が、求愛する雌に長い時間を費やし、たくさんの餌をプレゼントしたが、雌はいつこうに気に入ってくれない。」について

○一昔前には、この雄は今後どう行動するよう進化してきたと考えられていたか？

⑥ 鳥の「将来の行動に関する意志決定」は、何によって行われるか？（二つ挙げよ）

<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------

⑦ 人間の活動や思考における「コンコルドの誤り」について筆者はどのような具体例を挙げて説明しているか？（「元祖のコンコルドの例」は除く）またそれらの例における「投資」とは何か？

具体例（一）…戦争における（ ）を続行すること

投資…

具体例（二）…科学者が旧（ ）を捨てようとししないこと。

投資…

具体例（三）…ウェーゲナーの（ ）を認めないこと。

投資…

⑧ 「コンコルドの誤り」は、人間の何にかかわるものがあると筆者は言っているか。

Q なぜ、人間の思考は「コンコルドの誤り」を犯しがちなのだろうか。
その理由を自分の言葉で考え、根拠を本文中から挙げてみよう。

☆作業①…理由と根拠を下書きしてみよう。

(理由) 下書き	(根拠) 下書き
から	

※ポイント (i) 問われたことに答えているか (ii) 根拠は本文に基づいているか。

☆作業②…友人の考えを聞いてメモをとろう。

() さん (理由) (根拠)	() さん (理由) (根拠)
() さん (理由) (根拠)	() さん (理由) (根拠)

☆作業③…理由と根拠をまとめてみよう。

(理由) まとめ	(根拠) まとめ
から	

Q あなたは人間の思考において犯してしまいがちな「コンコルドの誤り」についてどのように考えますか。①か②のどちらかを選択した上で、その根拠を述べてください。
 (※根拠は教科書本文だけでなく、自分の体験や知識でもよい。)

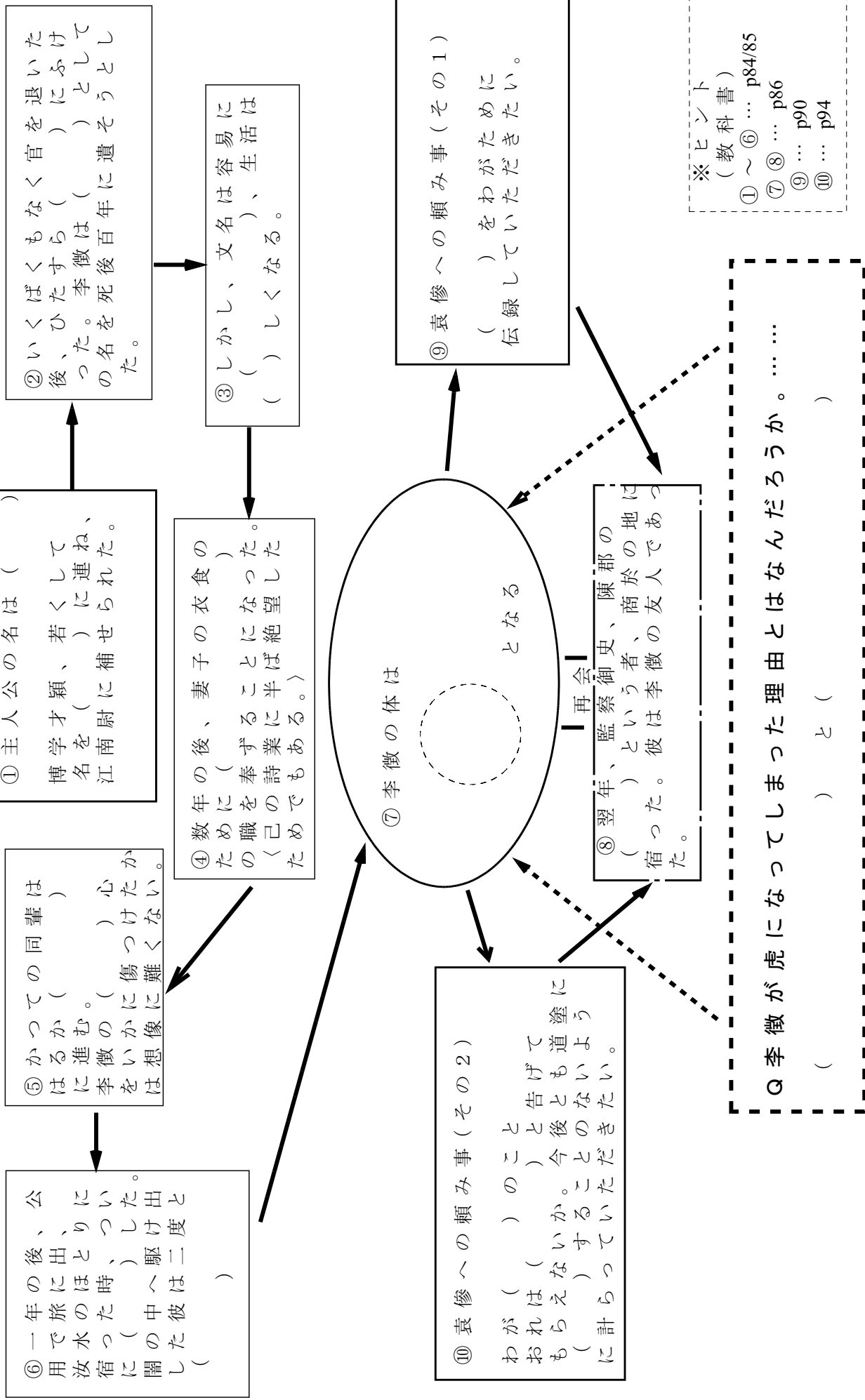
(立場) 人間の思考における「コンコルドの誤り」は
 「①あつても仕方ない。 ②あつてはならない。」 ※どちらかを○で囲みましょう。

(根拠) 本文から	(根拠) 自分の体験・知識から
-----------	-----------------

ポイント (i) 自分の立場を決められたか。(ii) 本文を正確に理解しているか。
 (iii) 本文に書いてあることや自分の体験・知識を根拠にしているか。

☆友達の見解をメモしましょう。

理由	() さん ①あつてもよい・②あつてはならない
理由	() さん ①あつてもよい・②あつてはならない
理由	() さん ①あつてもよい・②あつてはならない
理由	() さん ①あつてもよい・②あつてはならない



山月記 ワークシート2 ① 第一段落 (ノートに貼ること)

() 組 () 番 氏名 ()

語句

①自ら恃(たの)むところ

②炯々(けいけい)

③節を屈する

歯牙(しが)にもかけない

下命(かめい)を拜す

①隴西に生まれた李徴(りちよう)は、とても賢く、天寶時代の終わりに、若いながらも国の役人試験に合格し、江南の警察司令に任命されたが、性格は頑固であり、() が強く、身分の低い役人に満足することをみずから許さなかった。幾日もたたないうちに役人を辞めた後は、故郷の虢略に帰り、誰とも会わずに、() を作ることに集中した。彼は、身分の低い役人として、性格のいやしい上官の下で働くよりは、() としての名を百年後まで残したかったのである。

②しかし、そう簡単には詩人として有名になれず、(収入もなく)生活は苦しくなっていく。李徴は焦り始めた。このころから李徴の表情は険しくなり、顔はやつれ、眼だけが() 光り、かつて、役人試験に合格したころの美少年のおもかげは、なくなってしまうた。

③数年後、貧しい生活に我慢できず、() や () の生活を守るために、ついに()、再び東へ行き、地方の役人の仕事をすることにした。これは、自分の() としての活動に半分絶望したからでもあった。以前、同じくらいの地位だったものは、はるか上についてしまい、李徴がかつて、鈍いやつだと() 連中の() を受けなければならないことが、かつての俊才、李徴のプライドをどれくらい傷つけたかは、簡単に想像できるだろう。李徴は不満な気持ちにあふれ、おかしい行動をとるようになった。

④そして一年後、李徴は仕事で旅に出て、汝水のほとりの宿に泊まった時、ついに気が狂ってしまった。ある日の夜中に、急に顔色を変えて布団から起き上がると、意味不明なことを叫びながら外へ出て、闇の中へと走っていった。李徴は二度と戻らず、手がかりのないまま行方不明となってしまった。

問題 「李徴」という人はどんな性格の人か。(いくつか挙げてみよう。)

第二段落のあらすじ

(李徴が行方不明になった)翌年、国の役人の袁慆が、天皇の命令で嶺南に行く途中、朝早く商於の地を通ったとき、人食い虎に遭遇した。あわや食べられるかと思われたとき、虎は急に体を翻して草むらの中に身を隠してしまった。そこから、「危ないところだった」と人間の声がした。その声はかつての友人李徴のものであった。袁慆は虎となった李徴の告白に耳を傾けるのだった。

李徴は、自分が旅先で闇の中から自分を招く声を追って走り出し、知らぬ間に虎になっていたことを語った。また李徴は、理由もわからずに押しつけられた運命を生きなければならぬ恐怖しさと、人間の心が虎の中にしだいに消えていく苦しみを訴えた。そして、自分が完全に人間でなくなってしまう前に頼みがあると袁慆に告げるのであった。

語句

李徴子

故人

所行

Q1 「とうてい語るに恐びない」(八八ページ・16行目)のはどうしてか。

Q2 「おれはしあわせになれるだろう。」(八九ページ・15行目)と言っているのはなぜか。

山月記 ワークシート2 ③ 第三段落 (ノートに貼ること)

() 組 () 番 氏名 ()

第三段落のあらすじ

かつて詩人として有名になろうとした李徴は、今でも記憶している自作の詩およそ三十編を記録し、伝えてほしいと袁慆に依頼する。それらの詩は、いずれも格調高く、優れていたが、袁慆は、第一流の作品となるのにはどこか欠けるところがあるのを感じる。李徴はさらに現在の思いを託した即席の詩を吟じるのであった。

(語句)

名を成す

産を破る

あざける

☆李徴の詩 現代語訳

- 1 偶然、精神の病により、() となつてしまった。
- 2 災いが重なつて、もはや逃れることが ()。
- 3 虎となつた今、自分の鋭い爪や牙にだれがはむかおうとするだろうか、
（いや、だれもはむかつてはこない）
- 4 かつては、二人とも () が高かつたというのに。
- 5 私は虎となつて、() や () の雑草のもとに身を隠しているが、
- 6 君はすでに出世して () に乗り、勢いが盛んである。
- 7 今宵、谷川や山を明るく照らす () に向かい、
- 8 詩を吟じようとしてもできず、ただ、虎として () ことしかできない。

※詩の形式 ()

対句 () ()

押韻 ()

詩に込められた李徴の思いとは？

山月記 ワークシート2 ④ 第四段落（ノートに貼ること）

（ ）組（ ）番 氏名（ ）

☆虎となった理由（李徴が思いあたること）

Q 1 李徴は、ある二つの心をポイントとして挙げている。それを挙げてみよう。
（六字の語句を二つ抜き出そう。）

①

②

Q 2 ①に関して、Q 李徴は何をおそれていたか。

②に関して、Q 李徴が人との交わりを避けたのはなぜか。

身近な例に置き換えると……

まとめ

★李徴が虎となった理由

（ ）と（ ）が心の中で大きくなりすぎてしまったため。

★第四段落を読んで、李徴はどんな人だと思いましたか。

（ ）組（ ）番 氏名（ ）

☆李徴についてまとめてみよう。

第一段落 李徴の性格と夢

（ ）が高い・（ ）固・自分に（ ）がある
有名な（ ）になるのが夢

第二段落 虎になった李徴

虎として苦悩する李徴

（ ）の心がしだいに消えていく恐ろしさ

第三段落 詩の伝録を依頼する李徴

（ ）の作品となるのにはどこか欠けるところがある

虎となったみじめな（ ）と出世した（ ）との比較を即席の詩に吟じる

第四段落 虎となった理由について振り返る李徴

（ ）と（ ）の存在に
李徴は気付く

第五段落 妻子のことを頼む李徴

ほんとうはこのことを先にお願ひすべきだつたと、こんな男だから（ ）
に身を墮とすのだと自嘲する。

★物語全体を通して、李徴の生き方についてどのようなことを感じ、思いましたか？

<hr/> <hr/> <hr/>

山月記 ワークシート3

二年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

(一) 問題について各自で考える。

李徴のような生き方があっても良いと思いますか。それとも、あつてはならないと思いますか。①どちらかの立場を決めた上で、②その理由を答えてください。

(※理由は本文の中からでも、自分の体験・知識からでもよい。)

①自分の立場…李徴のような生き方が あつても良い あつてはならない

(※どちらかを○で囲みましょう。)

②その理由

本文から

体験・知識から

(二) 班を作り、意見を交換する。(司会 金子)

(三) 役割を決めて、記録をまとめる。

A 記録者 (さん) : 記録シートに記入する。

B 発表者 (さん) : 全体発表で記録シートを読み上げる。

(四) 全体での各班の発表 (司会 金子)

(五) 本時の振り返り

みんなの意見を聞いて感じたことや考えたことを記入しよう。

<p>・</p>

<p>あつても良い () 人</p>	<p>主な理由 (簡条書きでよい)</p>
<p>あつては ならない () 人</p>	<p>主な理由 (簡条書きでよい)</p>